

平成28年

季刊

春季号

Vol.57

# 亞東



郭仲熙・駐日副代表



一般社団法人亜東親善協会

The East Asian Friendship Association

## 一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

## 事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び幹旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の幹旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任されました。

二〇一三年二月、安倍会長の意を受け、会長代行・大江康弘参議院議員が会長を引き継がれ就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会員一同、役員陣容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

## 一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

## 事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び幹旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の幹旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長らの要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任されました。

二〇一三年二月、安倍会長の意を受け、会長代行・大江康弘参議院議員が会長を引き継がれ就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会員一同、役員陣容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

一八頁

一般社団法人 亜東親善協会

## 平成二八年新春互礼会講演会

平成二八年二月一七日（水）一七・〇〇～一七・五〇

於：ザ・キャピトル東急1F 桐の間

### 会長あいさつ

どうも皆さんこんにちは。今日も大変お忙しい中にもかかわらず、毎年こうして私どもの恒例の新年互礼会にご参加頂きましてありがとうございます。

この互礼会に先立ちまして毎年私どもは、この協会に對しまして大変お世話になっております、そしてご理解のある、それぞれ著名な先生方にご講演を頂くことになっております。

今回は政治評論家、もう皆さまお馴染みですけれども浅川博忠先生にお願いしてございます。私はもう本当に三年前まで随分国会でお世話になって参りました。もう一週間に一回ぐらい先生がわざわざお越しを頂いて、先生のこの政治を見通すこの慧眼、まさにこの先行き、流れ、もう先生から頂いたアドバイスで、私がちょっと眩くと、「大江さんあんたどこかで見てきたんか」みたいな、実はそんなことが度々ありまして、その度に先生ありがとうございます、まあそんなことを今思い起こす訳でありますけれど、今回お願いを申し上げましたところ快くお引き受けを頂きました。今日は限られた

時間でありまして、先生にいろいろと語って頂きたいというふうに思っております。実は私ども協会は大変資金がありませんので、先生には実はボランティアで来て頂いております。そのことも併せて本当に感謝を申し上げたいと思います。七月にすっかり戻ったら月賦で先生にお世話になった分をお支払いせないかなあ、まあこんなことを思いながら、今日は先生に甘えた次第であります。

それでは私から浅川先生をご紹介申し上げまして、ご講演を頂きたいと思えます。浅川先生宜しくお願いいたします。

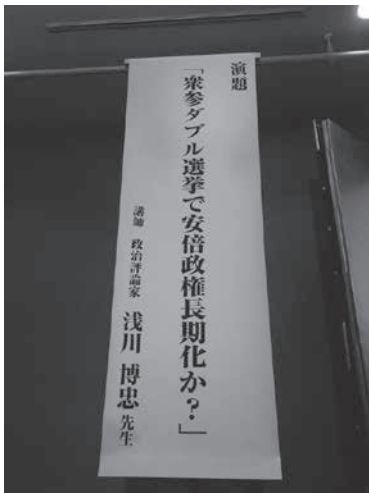
### 浅川博忠先生 講演会

#### 演題「衆参ダブル選挙で安倍政権長期化か？」

どうも皆様こんにちは。ご紹介いただいた浅川でございます。大江先生とはもう古い付き合いになります。私も色々ご指導いただいているすばらしい先生が残念ながら三年前に落選してしまいました。今日の会は大江先生が七月に間違はなく復活する。ある意味で前祝となるような会になることを祈念しつつ、私から最初に皆様へ簡単な質問をさせていただきます。「平成と元号が変わって今の安倍晋三さんは延べ何人目の総理大臣ですか？」極めて簡単な問題なので、恐らくご参加している皆様の中で私と視線が合った人を指名すれば正解を答えると思いますが、万が一正解を大きく外れ、恥ずかしくて大江先生が会長をする亜東親善協会の会に来られな

くなると私が怒られますので、私から答えを申し上げます。平成と元号が変って今の安倍晋三さんは延べ十八人目です。延べと言うのは安倍晋三さんが再登板しているため実質は十七人です。では最初の総理は誰だったか？ 最近は無ス番組で流れるシーンが少なくなりましたが、一時は「平成」と掲げる小渕恵三官房長官がニュースなどで流れていました。小渕さんは竹下登内閣の官房長官だったので平成の最初の総理は竹下登です。

平成元年は竹下さんが消費税を通しましたが、その後にくるクルート問題で四月に勇退して次に宇野宗佑を指名しました。しかし宇野宗佑は最近問題になっている京都三区の宮崎さんの先輩のような形で二ヶ月で辞職し、その後は海部俊樹になりました。つまり平成元年は総理が三人も代わり「平成」は混乱の極に達していました。



私は最近の総理がくるくる代わる政治情勢をゴルフのホールインワン政局と呼んでいます。なぜそう呼ぶのか、パー3のショートホールで第一打が直接カッ

プインするのがホールインワンです。当然グリーン上でパターを使ってパットする必要があります。つまり「パットしない政局」なのでホールインワン政局と呼んでいます。

戦後七〇年を振り返ると第一期は日本が戦後復興しなければいけない、いわゆる復興を目指し成長に燃えたのが第一期です。この頃の総理大臣はどのような人物だったか振り返ると、吉田茂、池田勇人、池田さんの前に岸信介がいました。つまり吉田茂、岸信介、池田勇人、佐藤栄作です。この人たちの共通点は全員がエリート官僚出身です。エリート官僚出身の政治家が、なぜ戦後復興の高度経済成長期を築けたのか。彼らは旧帝大を卒業してエリート官僚になり、二十三歳、二十四歳の頃から国をどうするのか訓練されて仕事をしていました。そのような人物が続いて総理になったことは、日本の国が人材を要請しており、そして運が良かった。そのためオイルショック以前の復興期は今、申し上げたエリート官僚出身の総理がずっと続きました。

その次は「三角大福中」と言われた時代です。この内の最初の二人、三木武夫と田中角栄はどちらかと言えば叩き上げ政治家です。しかし残りの三人、「大福中」大平正芳、福田赳夫、そして中曽根康弘はエリート官僚です。佐藤さんまで続いたエリート官僚時代が次の移行期で先の五人が順番に総理になりましたが、五人の内の三人はエリート官僚でしかもそれぞれの派閥で創業経営者的な存在でした。そうした時代

を経て次の時代になり、次の時代は先ほど申し上げた『平成』の時代からカウントされますが、この頃の総理は橋本龍太郎、小渕恵三、小泉純一郎、福田康夫、麻生太郎、安倍晋三。あるいは民主党政権では鳩山由紀夫。この人たちの共通点はある。皆さんが世襲政治家です。特に衆議院で小選挙区制が導入されてからは、自民党では世襲政治家が当選する度合いが高くなりました。なぜかと言うと選挙にはいわゆる地盤・看板・カバンの『三ばん』が必要です。世襲政治家は最初からそれに恵まれているため比較的楽な選挙で連続当選しやすいです。小選挙区制も絡み、今はずっと世襲総理の時代です。ではポスト安倍が誰なのか考えた場合、挙がってくる名前は岸田外務大臣、石破地方創生大臣、あるいは谷垣幹事長です。皆さん世襲なので世襲総理がこれから続く時代に入ります。これを我々は成熟期と判断するのか、むしろ逆に退廃する前触れと判断するのか、今はまさに過渡期です。戦後七〇年を振り返ると戦後の日本は歴代総理の流れを引きずっているため、これから先、我々は決して安閑としていられないことが危惧されます。

今は野党が弱すぎます。弱すぎるのはそれなりの原因があります。やはり鳩山、菅、野田佳彦ら三人の総理はまったく総理になる資質がないまま、いわゆる未完成のまま総理になったので何もできなかった。民主党の三年三ヶ月は完全な失政政権でした。失政政権のつけとなった負の遺産が安倍さ

んを再登板させ、安倍さんは発足から三年が経っても内閣支持率はほぼコンスタントに五〇%です。復権できた、再登板できた安倍さんは民主党の負の遺産に助けられた運が強い人だと言えます。ちょうど菅内閣の頃、私は横浜で神奈川生産性本部の理事をしていた関係で、安倍さんに月に一回朝八時から始まる朝食会の講師に来てくれと頼みました。繰り返しますが菅内閣の頃、当時の安倍さんはヒマだったので「七時四〇分でも喜んで参ります」と言って朝食会に来てくれて、その時は危機管理の話をしました。ちょうど五年前の六月で三・一一が起きて三ヶ月の頃だったので、安倍さんが話した危機管理は当時の菅総理の対応に比べるとはるかに勝り、神奈川県の人財界人も食い入るように聞き入っていました。安倍さんはそれがうれしかったのでしょうか、終わってから「浅川先生はこれからどうされますか」と尋ねられ「国会の方へ行くよ」と答えると「私の車に同乗しませんか」と言われ、お言葉に甘えさせてもらいました。その時、安倍さんは連れていた初村と言う秘書に「初村くん、君は電車で帰ってくれ」と言ったので、私は一瞬妙に思いました。車には十分なスペースがあるはずですが、つまり運転手さんの横の助手席に秘書を乗せる十分なスペースがあるのに、人払いして電車で帰らせたので、何かあるなと思ったら案の定、横浜から高速に入って川崎に差し掛かった頃に安倍さんが私を覗き込むようにして小声で「実は再登板しようと思っているのですが、協

力してもらえませんか」と話しかけられ、私はビックリしました。安倍さんの一回目の辞め方は途中で職場放棄した無責任な辞め方と言う評価でした。秋の臨時国会が始まって当時の安倍総理が臨時国会の所信表明演説をして、中一日を置いて当時の民主党の鳩山代表が代表質問する本会議が午後一時から組まれていましたが、急遽その二〇分前の十二時四〇分に私は辞めたいと一方的に宣言したので途中で職場放棄した無責任な辞め方だと批判を浴びました。そのハンデがあるにも関わらず、再登板するために協力いただきたいと言われてビックリしました。私の本音とすれば、無理に決まっているとノドまで出掛かりました。万が一口にして高速道路の途中で「申し訳ないけど降りてくれ」と言われたら困るので、再登板するにはいくつか条件があると返事しました。すると安倍さんは私を覗き込むようにして「例えばどんな条件でしょうか」と聞かれたので、私はこう答えました。「まず一つめは一回目に総理になったときに戦後レジームからの脱却を提唱して外交防衛で総理になる」と言いましたが、しかし国民が時の総理や内閣に求めたのは景気対策や経済対策、あるいは社会保障問題など生活に密着した問題なのに、一回目の時にそんな話はしなかった。「もっとと経済のことを準備しないとまずい」と言うとき安倍さんは「任せて下さい、それは今、懸命に準備している最中です」と答え、それが後のアベノミクスを指しています。

次の条件を聞かれ「最初の内閣は『お友達内閣』と呼ばれ、その典型が官房長官に塩崎恭久を指名したことなので、もう少し『脱お友達の内閣』を作らないと問題がある」と答えました。私が塩崎恭久を入れてはダメと言うとき安倍さんは「彼とは切っても切れない縁があるので、どうしてもそばいないと困る」と言いました。そんな話をしていると国会に着いてしまい、安倍さんから「話が中途半端なのでもし三〇分ぐらい時間がいただけるなら議員会館の私の部屋でもう少し話しましょう」と言われ。第一議員会館の十二階の奥にある彼の部屋へ連れて行かれ、その他、再登板にはどんなことが必要かという話を実際にしました。それから時が流れ、三年前の九月の総裁選に安倍さんが出馬することになりました。当時の本命は石原伸晃、対抗が石破茂、安倍さんは穴と評価されていました。九月の総裁選の投票日の半月前にこのホテルで総裁選を予想する朝食会が開かれ、先輩の政治評論家と私の二人が呼ばれました。まず先輩が本命は石原伸晃、対抗が石破茂、安倍は圏外だと言う講演をして私にバトンタッチしました。私も内心、その可能性が高いと思っていました。しかし車中で安倍さんから頼まれたこともあり、同じような話をしても仕方ないので、私は先輩とは逆に本命は安倍晋三、対抗が石破茂、むしろ石原伸晃は最初から圏外だと朝食会で話しました。朝食会が九時半に終わり、一時間経つか経たないかの十時半直前に私の携帯が鳴り、電話にでると「スガです

が今朝はありがとうございます」といきなり言われ、私は秋田出身で会社を経営しているスガと言う友人がいるので、てっきりその人物だと思い「今朝は会ってもいないのに、何があるがとうだ」と返事すると、相手は私の勘違いに気付き「自民党の菅義偉です」と言いました。「今朝、ある会で安倍本説を唱えていただきありがとうございました。私は安倍の選対本部長で責任者です。今マスコミが安倍は圏外というような話をするなかで、安倍本説を唱えていただき、非常に心強く、これから頑張ります」と言うお礼の電話でした。更に私がビックリしたことは、当時の菅義偉は私の携帯番号を知りません。私が朝食会で話した内容の情報収集力、携帯番号を知らない菅義偉が恐らく複数の議員に確認して番号を聞きだし、直接私へ電話してきた行動力、これはすごいなと思います。しばらくして安倍さんに会ったときに「菅さんはすごいね」と言うのと「そうですか」と返事されました。第二次・再登板時の内閣は塩崎恭久をはずして菅義偉を持ってきています。今、安倍内閣がとりわけ高い五〇%の支持率を維持できるのは、先ほど申し上げた民主党の三年三ヶ月の負の遺産のおかげと官房長官の情報力と行動力にものごく助けられている要素があります。ですが安倍さんは先ほど申し上げた「塩崎は親友だからはずせない」と言った通り最初に再登板した際に入閣させませんでした。後の改造内閣では厚生労働大臣にして、去年の九月三日の改造でも続投させま

した。安倍内閣は3A1S内閣と呼ばれていました。3Aは安倍、麻生、甘利、1Sが菅です。しかし甘利が辞めたので今の安倍内閣は2A2S内閣に様変わりしています。つまり安倍、麻生の2Aと菅、塩崎の2Sの様相になっています。今の問題はマイナス金利を実施したいいわゆるアベノミクス、クロダミクスが現時点では世界の影響も受けてマイナスに現象として出てきています。株は乱高下して、アメリカや中国経済の影響を受けて極めて不安要素があるなかで、まず七月に参院選は決まっています。が、ダブル選挙にするか否かがポイントになります。安倍さんの本音はダブル選挙するつもりです。ダブル選挙にすれば野党の選挙協力ができなくなりま



す。特に参議院は完全にできなくなります。そうすると与党の勝ち幅が増えるので、いわゆる衆参で三分の二も夢でなくなります。ダブル選挙に圧勝した場合のもう一つの条件ですが、自民党の中で今のキーマンは鳩山邦夫です、鳩山由紀夫さんの弟です。彼は百名からなる如月会と言う勉強会をずっと持っており、鳩山邦夫が去年の十一月末にこう発言しました。もし安倍さんがダブル選挙にして圧勝したならば、かつて中曽根さんが寝たふり・死んだふり解散した際にダブル選挙のうまみで圧勝したことがある。その時、当時の自民党は総裁任期一期二年で二期まで、四年だったのを圧勝した特別ボーナスでこれを五年に延長した前例がある。よってダブル選挙を今回も行って圧勝すれば、安倍さんは少なくとも二〇二〇年の東京オリンピックが終わるまで総理でいられるのではないか。つまり二年間のボーナスを与えてもいいのではないかと去年の十一月に鳩山邦夫が言い出しました。今、彼はそれなりに党内世論を広げようとして動いています。そのため安倍さんがダブル選挙に踏み切って圧勝すれば、安倍さんの総裁任期は東京オリンピックが終わるまでとする受け皿ができるか否か。安倍さんは今その点を見極めています。もし延長されれば憲法改正をする期間が二〇二〇年、つまりあと四年あるので十分にあり得ます。安倍さんが子供の頃に祖父の岸信介から「六〇年安保騒動でスタスタになって法案をやっと成立させたが、その間に樺美智子さんのような女子

大生が犠牲になった。本当は自分が憲法改正をやりたいが、それをやる余力がなく残念至極だ」この言葉を少年時代の安倍晋三は祖父から再三聞かされました。このことを引きずっている安倍さんが政治家になって総理を目指し、総理になった安倍さんがやるべき仕事は憲法改正です。ダブル選挙に勝って総裁任期が二〇二〇年のオリンピック終了まで延期されれば憲法改正する十分な余地ができる。このシナリオこそ、安倍さんが今描いているタイムスケジュールです。この春、四月あたりに景気が回復するのかどうか、春には春闘があります。その春闘で大手企業を中心にした昇給がどういう形で行われるか、経営者側はこの昇給を一時金扱いで対応したいと言っています。それに対し労働組合連合側はベースアップを主張して攻防の最中です。大手企業には内部留保金がたくさんあるので、ベースアップになれば四月以降に消費拡大が起きます。昇給分消費が大きくなれば景気回復の予兆になり、五月に行われる伊勢志摩サミットで安倍さんはそれなりに上手なパフォーマンスができます。四月のベースアップで景気回復が見え、そして五月のサミットが順調に行われれば、ダブル選挙の効率は与党に有利なので、このタイムスケジュールを完全に実施するでしょう。問題は連立パートナーの公明党です。公明党はダブル選挙をやってほしいなと言っているが本音ですが、この辺はこれから表に出ないように自民党の中枢が公明党の中枢に色々なサインを送り、同意

を得るように動くでしょう。私は今日、一時からちようど一時間、谷垣幹事長と会ってききましたが、幹事長もダブル選挙は五割の確率と予想しているようでした。今は五割ですが、申し上げたような景気回復、サミットが成功すれば間違いなく七割に上がると言えます。ただ皆様の中にも、最近の安倍さんの姿、あるいは先日の宮崎謙介問題、あるいは大臣の失言などで、最近の自民党はおごり、高ぶりで油断しすぎではないかと言う批判がやはり一部で出て来ています。この批判がこれから参院選に向けて完全に改められるのか、この点もダブル選挙で自民党が圧勝できるかどうかのキーポイントです。そして先ほど申し上げたように、ダブル選挙で再び世襲議員が増える可能性があります。今季限りで辞める世襲議員が数名いますが、彼らは自分の息子に世襲させる手立てを打っています。政治として総理も世襲で国会議員全体も与党が世襲となれば、非常に問題点があります。

今はもう政界を引退していますが、かつては世襲議員の若手で将来のホープと言われた人物と一緒に食事したことがあります。その時、彼は自分が弱者の味方だと言う内容の話を前半とうとうしていました。当時は厚労省でなく厚生省と呼んでいました。厚生省の仕事をやる厚生族でいるという話をととうと述べていました。私はすごい話だと感心して相槌を打っていたら、しばらくして彼が「相槌を打っているようでは政治ジャーナリストとして成功しないよ」と言われま

した。私は意外な言葉にその理由を尋ねると「自分はそれなりの世襲議員の家庭で育ち、それなりの私立大学に入れた。つまり強者の生活をずっと続けているオレが、本音で厚生族として弱者の味方になれる訳がなく、オレが肌で感じるはずがない」と本音の話をされました。「オレが弱者の味方と言っているのは、選挙区で母親、つまり女性の票を獲得する手段であり、本音と建前の話は当然政界にもある」と言われました。当時の私は政界ジャーナリストとして駆け出しの頃で、その政治家は私より三つ四つ年上でした。「これからこの世界でジャーナリストになるならば本音と建前のポイントをきっちり仕分けしないとやっていけないよ」とアドバイスを受けました。世襲政治家は必然的に恵まれた環境で育っているのもそうなる可能性が高いと考えても、ダブル選挙になれば世襲でない議員を政府与党である以上自民党はしっかりと確保する必要があります。そうなるに現在は党の重鎮である二階俊博総務会長も県会議員からの叩き上げで、現在の地位まで上り詰めました。そして二階俊博先生のところへ大江康弘先生がおり、大江先生も間違いなく世襲派ではなく叩き上げ派です。今度の選挙のポイントはこの点にあると思います。自民党が政府与党として長続きするためには、世襲議員ばかり続いたのではおかしくなります。叩き上げの議員が甘い判断で行動する世襲議員をしつかり監視してセーブする必要があります。この意味から今の政界で大江先生が復活当選

することが、中長期的に日本の政治を見たときに非常に大切になると信じて疑いません。このような政治情勢が冒頭に話した成長期における戦後の日本の政治、つまり吉田茂以下佐藤栄作までがエリート官僚であり、他の皆さんが叩き上げ政治家としてのし上がりました。次の「三角大福中」も五つの派閥の創業経営者であり、三木武夫から田中角栄、そして福田赳夫、大平正芳、中曽根康夫はそれぞれ創業経営者として派閥を抱えるようになりました。この時の日本は経済も高度成長期で良かったです。ですが世襲総理ばかり続くと成熟期どころか退廃期になりかねません。大きな転換期の中で私は是非とも大江先生が議員バッチをつけて国会で大活躍することが、退廃期の日本が落ち込まないための救世主になります。

戦後七〇年の大きな流れで見ると今は大きな転換期であり、その中で時あたかも七月に大江先生が返り咲きを目指し、選挙に挑戦することは極めて大切なことです。私に限らず仲間の政治ジャーナリストも大江先生に復活してもらわなくては困ると、我々の業界でも常識的な考えになっています。是非、この点を皆様もご理解いただき、大江先生の復活に力を貸していただきたい。

政治マターになりますが、今の日本の政策で大切なことが三つあります。一つは平和、二つ目は財政再建、三つ目は少子化問題です。平和問題について安倍さんは右よりの政治家

で、日本の外交の基軸を日米関係に置いています。ところがアメリカがかつて世界の警察官と呼ばれて世界を治めていた時代が終わり、経済力、財政力、軍事力でも往年の輝きがなくなったため、その分を日本に肩代わりできるものはしてもらいたいと言う意向を数年前からアメリカが出してきたので、安倍さんもそれに応じています。昨年の国会で安保法制が強行採決された背景もそこにあります。野党が対案を持っていなかったため何も言えなかった。安倍さんとしては日米関係はどうしても守る必要があります。安保法制を作りました。問題は先ほど申し上げたとおり、安倍政権が長期的に確保されたならば安倍さんは憲法九条周辺もある程度改憲して更にしっかりとしたもの構築しようとする曲がり角なので、まず平和についての政策に我々は敏感になる必要があります。

二番目の財政再建について、皆様ご承知のとおり今年度予算も来年度予算も一応の歳出は九十七兆円です。そして歳入、つまり税金で入る金は五十七兆あるかないか。つまり黙っていても四〇兆は赤字国債に依存せざるを得ません。これを繰り返していると我々の孫やひ孫の世代は大変になります。完全に借金国家で一つ間違えればギリシャみたいに財政破たんが懸念されるような状態になります。ひ孫の時代にも社会人の初任給が二〇万円としたら、その内の半分はやれ社会保障だの高齢者医療費だと言って持っていける気の毒な生活を強いられます。このようなことを軽減させるためど

うしても財政再建に対応しなくてはなりません。

三番目の少子化ですが、最近のNHKの報道番組を見ると、今までは少子高齢化時代と言っていました。最近では「小」の文字の前に「超」の文字を付けています。超少子化時代が懸念され、出生率は一・四二二人です。このまま進めば今は一億二〇〇〇万の人口が二〇年後には一億を割り、国として先細りになります。人口が減ることはつまり生産者が減り、同時に国内の消費も少なくなる先細りに直結します。安倍さんもこのことを考え、あの三本の矢の中でこの点を回避するため一億総活躍を提唱しました。人口が減っても七〇代の人に働いてもらい、総生産労働力を減らさない繋ぎの策です。そして安倍さんは出生率を一・八人に変えると言っています。一・八人を変えて一・四二人をどうやって一・八人に変えるのか、具体的な政策を安倍さんは出していないので一・八人は絵に描いたもちの要素があります。ある程度上げるために必要なのは、昭和四七年の総裁選で田中角栄が日本列島改造論を提唱しましたが、それに類する現代版の新日本列島改造論しかありません。現在の人口格差は過密と過疎の二極化になり、大都市周辺は過密になっています。就職先がなくて交通も不便な地方の次男や三男は大都市周辺で仕事を探しています。そのバランスを整えようとしたのが昭和四七年、今から約五〇年前の田中角栄の日本列島改造論でした。列島改造論の骨子は鉄道網と道路網を地方に広げ、地方との距離を近く

してそこに職場を誘致する。職場が誘致できれば雇用ができるため大都市に集中する必要がなくなり、地方に分散させることでバランスが保たれる。地方で暮らす人はそれなりの給料で広い家に住めます。大都市では年収が六〇〇万であれば七〇〇万であれ、若いサラリーマンに庭付き一戸建ては無理です。都心から一時間半離れた3DKか3LDKのマンションになります。この状況で出生率を二人にするとと言っても住宅ローンがかさみ家も狭いため、一・四二人と言う低い出生率のベースになっています。地方に職場が広がれば、地方は広いので子供も二人目、三人目と生みやすい環境です。このような新日本改造論を提唱して、出生率が低い今の過疎地域を活性化させる。そうすれば一・四二人が一・六人になり、一・七人も見えてきます。安倍さんは本来なら参院選の前にこの辺を具体的に提唱するべきですが、今のままで一・八人、一億総活躍と言っても一般有権者には分かりにくいのです。この辺を打ち出せるかが参院選の分岐点になると思います。

時間がまいりましたので、最後に繰り返します。世襲議員が増える中で大江先生が再度議員バッチを獲得して大いに活躍することが、今の日本を退廃期から成長期に戻す大きな原動力になります。あと数ヶ月です、参院選まで五ヶ月を切っています。是非皆様におかれましては、知り合いへ声を広げていただき、大江さんがカンバックできるようにご尽力いただきたく思います。雑駁な話で失礼しました。

# 「一般社団法人 亜東親善協会」の新春互礼会がザ・キャピタル東急ホテルで盛大に開催

二月一七日夜、「一般社団法人 亜東親善協会」（以下、亜東親善協会）の平成二十八年度「新春互礼会」が東京都内のホテルで開催され、出席した台北駐日経済文化代表処の郭仲熙・副代表はあいさつの冒頭で、台湾南部で発生した震災に際し、日本各界からの心温まるお見舞いと激励および支援に感謝の意を表した。さらに、今後の台日関係の発展について、



大江康弘・亜東親善協会会長（左1）  
今井正・公益財団法人交流協会理事長（右2）  
郭仲熙・駐日副代表（右1）

とりわけ中華民国（台湾）のTPP（環太平洋パートナーシップ）協定への参加や日本との経済連携協定締結に向けて、より一層強い結びつきができるよう、引き続き同協会関係者の支援を願った。

亜東親善協会の大江康弘・会長は、台日関係が盤石であると述べた上で、今年も絆と団結で同協会の目的である友好親善を進めていきたいと抱負を述べた。同協会のメンバーである山本順三・衆議院議員は、「我々は今後も日台の親善を深めていくために努力していかなければならない」とあいさつした。この日、登壇した「公益財団法人交流協会」の今井正・理事長、松竹新喜劇の渋谷天外氏、鶴保庸介・参議院議員らは、台湾南部の震災被害に対し、慰問の意を表すと共に、台日間の深い絆を改めて感じたと言った。



先般の台湾での地震に対して協会から義援金を贈らせていただこうとの事で、天外が会場内を廻ってくれました

より乾杯の音頭がとられ、多くの会員および来賓らの出席の下、活発な交流が行われた。  
（台湾週報より転載）

## 「台湾フェスタ二〇一六」開催のお知らせ

<http://twfes.com/>

「一般社団法人 亜東親善協会」はアジアの国際親善を目的に「台湾フェスタ二〇一六」を「後援」いたします。今後とも「協会」はさらなる日本と台湾の交流を強く推進してゆきます。

### 〈開催主旨〉

「台湾の魅力発見！台湾フェスタ二〇一六」は二〇一一年の中華民国建国一〇〇年を迎える年に、代々木公園にて第一回の開催を予定していました。しかし、その年に日本の東北地区では東日本大震災が発生し、大きな被害を受けました。この災害を知った台湾からは、国民の多くの人達から集めた寄付が義援金として二〇〇億円を超える多大な金額を送ってくれたのです。この事で、日本と台湾はさらに強い友好関係が築かれました。

私共はこの度、在日華僑の方、台湾の方は勿論、日台交流を応援して下さる日本人を始めとする多くの人達と協力して、台湾に感謝と親睦の気持ちを持って、「台湾フェスタ二〇一六」を開催する事となりました。現在観光では日本と台湾の旅行者数は四〇〇万人の大会を突破し、今後日本と台湾の渡航者数を増加させるためにも、日本の人達にもっと台湾を知ってもらい、日台交流を更に推進するために、「台湾

の魅力発見！台湾フェスタ二〇一六」を再び初開催したいと考え、雄志が集まりました。

台湾の「観光・産業・芸能・文化・美食」等の魅力を理解してもらうために野外フェスの「聖地」として知られる代々木公園にて日本と中華民国台湾の交流を目的にイベントを開催いたします。代々木公園に二日間限定のまさに「リトル台湾」が出現します。

台湾に訪れたことがある人もまだない人も、バーチャルなネット上では決して味わえない「台湾の魅力発見！台湾フェスタ二〇一六」での「リアルな体験」をしてもらう事で、改めて考え、より理解を深め、日本からの渡航者数を増加させる一つのきっかけをつくっていき、日本と台湾の更なる交流の橋渡しとなり、数あるイベントの中でも日本と台湾の更なる交流の橋渡しとして成長させ、国際親善の推進に役立てたいと考えております。

つきましては、本イベントの企画趣旨をご理解いただきまして、ご協賛いただきたく存じます。ぜひこの機会にご検討いただきますようお願い申し上げます。

台湾フェスタ実行委員長 朱 恭亮

(一般社団法人亜東親善協会 理事、

日本華商総会 副理事長)

〈イベント概要〉

1. 開催日：平成二八年七月三〇・三一日週末（土・日）  
決定
2. 会場：東京都渋谷区 代々木公園広場 野外ステージ
3. 人数：約六万～一〇万人（予定）
4. 主催：二〇一六年台湾フェスタ実行委員会  
共催：日本華商総会
5. 後援：台北駐日経済文化代表処／公益財団法人交流協会／（一社）亜東親善協会／台湾観光協会／台湾文化センター／東京都／渋谷区／日本中華聯合總會／中華民国留日東京華僑總會／日台経済文化交流会／台湾貿易センター／チャイナエアライン・エバー航空／その他
6. 協力：中華民国留日東京同學會／TAIWAN PRESS／TOKYO HEADLINE
7. 目的：台湾の観光や産業、芸能・文化・美食など様々な魅力を体験し、味わい、感じてもらうことで、さらなる国際親善を推進することを目的に「台湾フェスタ二〇一六」を開催します。

〈お問い合わせ先〉

查詢

台湾フェスタ実行委員

日本語

株式会社 EIGHTY ONE TOKYO

担当：渡辺 尚史

email: watanabe@81tokyo.jp

電話：〇三―五七三八―七三六〇

FAX：〇三―五七三八―七三五一

北京語

日本華商總會

担当：謝 惠芝

受付時間：火・水・金（一二時～一七時）

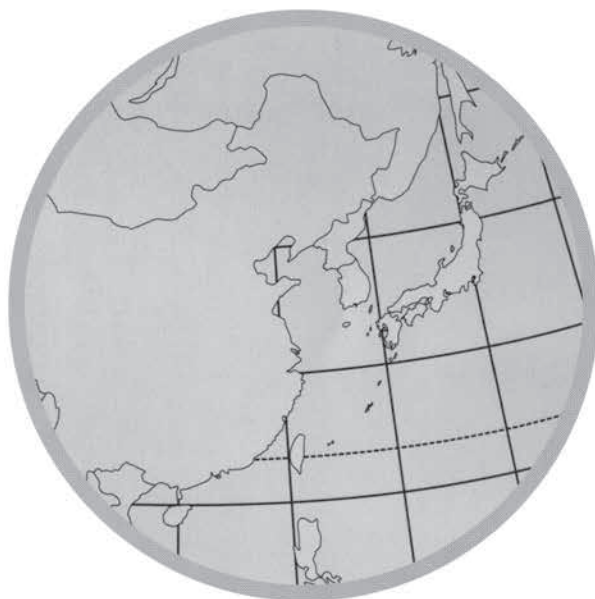
電話：〇三―三四〇八―四四六八

FAX：〇三―三四〇八―〇三八二

日本華商總會 二〇一六年三月

説明は台湾フェスタホームページをご覧ください。

# 東アジアの民主と平和 友好親善にあなたの力を!!



友情と信頼  
一般社団法人 亜東親善協会

只今、会員を募集しております。

## 入 会 の 手 続 き

1. 事務局所定の入会申込書を提出していただきます。
2. 入会は、協会の理事会の議を経て承認されます。

|      |            |
|------|------------|
| 法人会費 | 50,000 円以上 |
| 賛助会費 | 30,000 円以上 |
| 個人会費 | 10,000 円以上 |

## 事務局だより

◎四月一日～五月二七日 奇幻旅程～台日現代アート特別展

代表処台湾文化センター（東京都港区虎ノ門一～一二虎ノ門ビル2F）は四月一日（金）～五月二七日（金）に「奇幻旅程（マジカル・ジャーニー）～台日現代アート特別展」を開催し、台湾のアーティスト・彭泓智氏と日本のアーティスト・蜷川実花氏の作品を展示します。

◎四月二三日 台湾映画上映会「藍色夏恋」

代表処台湾文化センター（東京都港区虎ノ門一～一二虎ノ門ビル2F）は四月二三日（土）一四～一〇より「台湾映画の新しい潮流を感じよう」シリーズのイベントを開催します。台湾映画「藍色夏恋」を上映し、アジアンパラダイス編集長の江口洋子氏を講師として招き、台湾の青春映画の発展を解説します。

◎四月二四日 台湾カルチャーミーティング…激動する歴史―台湾人作家たちの作品と人生

代表処台湾文化センター（東京都港区虎ノ門一～一二虎ノ門ビル2F）は四月二四日（日）一四～一〇より「台湾カルチャーミーティング」シリーズ講座を開催し、台湾文学研究家の陳芳明氏を講師として招き、「激動する歴史 外部から見つめる文学―台湾人作家たちの作品と人生」をテーマに講演します。詳細は[http://jp.taiwan.culture.tw/information\\_34\\_45427.html](http://jp.taiwan.culture.tw/information_34_45427.html)。

◎四月二四日 埼玉西武ライオンズ公式戦 西武ドーム「台湾デー」

「埼玉西武ライオンズ」と「東北楽天ゴールデンイーグルス」のプロ野球公式戦が四月二四日（日）一三～一〇より西武プリンスドーム（埼玉県所沢市上山口二一三五）で開催され、同球場で「台湾デー」イベントが行われます。西武グループと台湾鉄路局が友好協定を締結していることから、台湾観光協会と西武球団、西武旅行社、中華航空日本支社などが協力し、同日一～一三〇～一六〇〇に同球場で「台湾デー」イベントを開催し、台湾の観光資料の提供や伝統芸能のパフォーマンス披露を行います。詳細は<http://www.seibulions.jp/news/detail/11188.html>。

## ※今後のスケジュール

定例総会及懇親会

平成二八年五月一二日（木）

ルポール麹町

一六～一〇（予定）

季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 平成28年 春季号 (No.57)

発行日 : 平成28年4月15日

発行所 : 一般社団法人亜東親善協会

発行人 : 大江康弘

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

台湾の翼 チャイナエアライン

なら、うまくいく。



ビジネスはチャイナ エアラインで  
[www.china-airlines.co.jp](http://www.china-airlines.co.jp)

